

2016 1 月号

No. 439

島おきなわ



謹賀新年

昨年中はいろいろとお世話になり

心よりお礼申し上げます

今年もどうぞよろしくお願い致します

二〇一六年(平成二十八年)

会 長

高良文雄

(本部町長)

副 会 長

城間俊安

(南風原町長)

副 会 長

新垣邦男

(北中城村長)

副 会 長

川満栄長

(竹富町長)

事務局 長

新垣喜春

外、役職員一同



CONTENTS【目次】

新年のごあいさつ	高良 文雄	2
年頭のごあいさつ	翁長 雄志	3
リレーエッセイ			
安らぎと 活気に満ちた	フロンティアアイランド		
南大東村長	仲田 建匠	4
「この人に聞く」			
元大宜味村長	新城 繁正	5
沖縄県の離島医療のあゆみ ④			
～ 離島医療との出会い ～			
沖縄地域医療支援センター長	崎原永作	11
あのまちこのむら		13
全国町村長大会		17
研修だより		20
会務の動き		47
町村長選挙の結果		48
市町村一覧		49

「チャンプルー文化」が根付く南大東村

明治33年（西暦1900年）、壮絶な絶海の孤島（うぶあがり島）南大東島に開拓の第一歩を標したのは、東京都八丈島の開拓事業者である玉置半右衛門翁^{たまきはんえもんおう}他23名の有志でした。

村には、東京都八丈島の風習と沖縄の伝統美が一つになった「チャンプルー文化」が根付いています。南大東村の豊年祭は、神輿・山車・江戸相撲・沖縄相撲・演芸などの奉納行事がにぎやかに行なわれます。祭りは老若男女がハッピーに鉢巻姿で神輿をかつぎ、山車を引き集落を練り歩き豊年を祈願します。また、江戸相撲は八丈文化のひとつとして昔から受け継がれ、奉納相撲は祭りのメインイベントです。南大東村は、沖縄であって、沖縄とも八丈とも決めがたい独特の伝統文化が息づいており、島人は、風土を愛し、祭りを楽しみ、生活を愛しています。近年は体験型観光として、豊年祭への観光が増えています。



豊年祭



豊年祭（江戸相撲）16人の幕内力士



新年のごあいさつ

沖縄県町村会

会長 高良文雄

(たから ふみお)

明けましておめでとうございます。

町村長の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、消費税率の引き上げ、こども・子育て支援新制度が全国自治体で開始、公職選挙法改正案の成立、安保関連法成立、TPP大筋合意、マイナンバー法の施行等、加速度的に時代が動いていくのを感じた年でありました。

行財政を取り巻く環境や社会経済情勢が目まぐるしく変革していく中で、地域の直面する諸課題に対し、町村長を始め地方自治に携わる皆様のご尽力に心より敬意を表します。

さて、昨年11月に開催されました全国町村長大会での石破地方創生担当大臣の挨拶の中で、「全国の多くの市町村において、主に子どもを産む20代30代の女性が、あと25年経つと今よりも大幅に減少する地域がたくさんあるというのが現実」ということであります。恐ろしい勢いで減り続ける人口、加速する超高齢化に改めて強い危機感を抱きました。どの市町村におかれましても地方創生は最も重要な課題であります。わたしたち行政だけでは到底なし得ません。しかし、成功させなければ地域、国の未来はありません。地方創生に向けた取組みを自らの意思で担い、更なる創意工夫と、住民の意識改革を図り一歩ずつ着実に前進できるよう全力を尽くしていきたいと思っております。

当会では、平成23年度から県内離島での町村長視察研修を行っております。昨年は、総会及び視察研修を久米島町で開催いたしました。今回で6町村の離島を訪問し、地域間の交流ができました。離島の厳しい現状を直に感じていただき、相互理解を深めていくねらいで今後も引き続き取り組んでまいります。沖縄県の「沖縄21世紀ビジョン基本計画」においても離島振興は大きな政策課題として捉えられ、更に沖縄振興交付金を財源に様々な取組みを強化しております。行政間のみならず地域が一体となり、ゆいまーる精神で本島地域と離島地域の格差を是正し、不利な条件を克服していきたいと考えます。

戦後70年をむかえた今日、これまでの沖縄振興計画等に基づく様々な政策により一定の成果を上げてきましたが、今なお課題は山積しております。地方自治体を取り巻く環境は一層厳しさを増し苦悩は続きますが、町村長はじめ役職員の皆様には地域のフロントランナーとして地方創生に向けた行政運営を担っていただきますようお願い申し上げます。併せて、今後とも本会へのご理解と更なるお力添えをお願いいたしまして、新年のご挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年のごあいさつ

沖縄県知事

翁 長 雄 志

(おなが たけし)

はいさい、ぐすーよー ちゅーうがなびら
明けましておめでとうございます。

沖縄県町村会の皆様におかれましては、気持ちも新たに、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

皆様が、住民に最も身近な基礎自治体として、日々、住民福祉の向上と地域の発展のため御尽力されていることに対し、深く敬意を表します。

今年は、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の策定から5年目の節目の年にあたります。沖縄振興の流れをさらに加速させていくべき重要な年として、これまでの取組の成果を踏まえ、一層の沖縄の発展につながる施策展開を図ってまいります。

そのためには、沖縄がもつ地域力、文化力、伝統力、人間力、自然力、離島力、共生力、経済力など、多くの人々を魅了する大いなる可能性を秘めたソフトパワーを生かし、「経済発展」、「生活充実」、「平和創造」の3つの視点から施策を展開することが重要であると考えております。

「経済発展」については、昨年策定した「沖縄県アジア経済戦略構想」に基づきアジアの活力を取り込み、本県の自立型経済の構築を加速させたいと考えております。

「生活充実」については、協働のまちづくりの理念を大事にするとともに、しまくとぅばなどウチナー文化の普及促進、子どもの貧困対策をはじめとする福祉・医療・教育の充実、離島力の向上など、各種施策に取り組んでまいります。

「平和創造」については、近隣諸外国との平和交流を積極的に促進するとともに、基地問題の解決に全力を尽くしてまいります。

特に、辺野古新基地の建設に反対し、普天間飛行場の県外移設及び早期返還、危険性の除去に全力で取り組んでまいります。

沖縄県町村会の皆様におかれましては、沖縄振興をさらに加速させるため、引き続き県政への御協力をいただきますよう、お願い申し上げますとともに、新しい年が皆様にとりまして希望に満ちた一年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

くとうしん ゆたさるぐとう うにげーさびら
(今年もよろしく願いいたします)



安らぎと 活かに満ちた フロンティアアイランド

南大東村長
なか だ けん しょう
仲 田 建 匠

南大東島は明治33年(西暦1900年)に開拓、定住が始まり終戦の翌年昭和21年6月に村制が施行され、平成28年6月には村制施行70周年を迎えます。

有史以来、さとうきび作を基幹産業とし、“島の砂糖か砂糖の島か南大東キビの波”と南大東音頭の一節でも唄われる甘味資源の供給基地として栄え今日に到っています。

平成12年度天然記念物活用事業において、小さな島から大きな遺産「南大東島まるごとミュージアム構想」を立案し、島の自然保護と観光振興・特異性の強い自然文化を活かしたエコツアーの構築等、今後の観光振興にも期待されています。また、平成元年から建設が進められている第4種南大東漁港は、他に例のない画期的な掘込式漁港であり、竣工後は周辺で操業する漁船の前線基地として、地元水産業を含め漁業振興が大きく発展し、島の名所としても注目をあつめています。

村は村制40周年の年に未来へ向

かって発展する道しるべとして、南大東村村民憲章を定め、鋭意その実現に向けて努力しているところです。今後も、さとうきび産業を村の基幹産業と位置づけ、間作・輪作作物を育てながらの「産業の振興」、豊富な漁場を活かした「漁業の振興」、島の魅力を発信し交流で絆をつなぐ「観光振興」を図ることを三本の柱とし、さらに福祉が充実し豊かさを実感できる村、安らぎと活かに満ちたフロンティアアイランドへ邁進するものです。



沖縄市町村今昔

この人に聞く⑧6



元大宜味村長

しんじょう しげまさ
新城 繁正

昭和6年12月20日生まれ。

昭和28年に琉球大学師範科を卒業後、26年間、中・高等学校教諭、社会教育主事、中学校教頭教諭を歴任され教育行政の発展に寄与された。

そして、氏の行政手腕、人柄を評価され昭和54年より助役として3年間村長を補佐し、更に昭和57年10月には村民から絶大な信頼と評価を受け村長に就任。以来3期12年にわたって行政運営に携わり、社会福祉の向上、教育・文化の振興、産業経済の発展等、県政並びに村政発展に多大な貢献をされた。

— 大宜味村長を3期12年務められ村政に大きな功績を遺し、その後も強い影響力を持ち続けている新城繁正さんにお聞きしております。新城さんは、教頭先生を務めている頃、請われて大宜味村助役になり、根路銘安昌さんの後継者として村長になりました。福祉村の建設、公務員給与の是正、簡易水道の全村設置など重要なお仕事をなし終え、3期12年で勇退されました。

新城 私は、当時の町村長の集まりでも、市町村長は3期ぐらいだなという話をしていました。なかには、いやいや4期でも5期でもやってもいいよ、という方もいました。ですが、私は、国体やら、給与問題とか、福祉施設の土地の取返しとか、もう、ちょっと疲れてもいましたからね。やることはやって、やり残したのはもうほとんどないと思って、3期で退任することにしました。平成6年(1994年)です。

外部から人材を登用

— 62歳ですから、まだ若い引退で、惜しまれたことと思います。後任はどんな方ですか。

新城 私の村長時代の助役、照屋林三君です。林三君に助役に来てもらったいきさつですが、彼は当時、県の土木建築部から企業局に移って、参事というポストにいました。参事室という部屋があって、訪ねていったらね、本当にテーブル1つあって、そこに座っているだけ。「あなたこれでは、公僕としておかしいじゃないか、こうして座っているだけなら、大宜味に来て、少し手伝いしてみないか」と声を掛けたんですよ。「へえ、村長、僕を使ってくれるんですか」、「使うというより、君の能力、経験を生かしたい。あなたが、そういう気持ちがあるなら本格的に根回してやろうと思っているよ」と言ったら、本人も「ありがた

い」と。

当時の副知事の石川秀雄さんが、「地方から請われて行くんだから昇給に値する。特別昇給みたいな処遇をしてから、照屋君は助役の話受けたらどうか」と知恵を出してくれました。彼も「こんなありがたいことはない」と言っていて、彼は何等級か分かりませんが特別昇給してもらって、それから大宜味村に引っ張って来たという経緯です。

— なるほど、自己都合退職だと、退職金が目減りします。その不利を埋め合わせようとしたわけですね。

新城 そんなこともあって、私は、石川秀雄さんにはだいぶお世話になったんですよ。今の前の助役の宮城重徳を引っ張って来たときも、当時の島袋義久村長が相談に来た。宮城重徳は県の土地開発公社にいたんだが、公社理事長の具志堅強さんは少し面識があるものですから、一緒にお願ひに行きました。

— 外部から助役を呼ぶことはしばしばありますか。

新城 あります。林三君がまず企業局ね。林三君が村長になった時の助役は、平良薫って行ってね、沖縄市の新川秀清市長の部下で経済部長や教育部長をしていました。謝名城の出身です。平良薫のときも、新川秀清さんにお願ひに行ったんですよ。それから宮城重徳は県庁、最近まで助役しておった山城清臣君は沖縄縄総合事務局の用地課長などしていました。

内部登用の難しさ

— 新城村長の次の村長は照屋林三さん、その次は。

新城 先ほど話したが、林三君は私が助役として引っ張ってきて、次の村長になり、2期務めました。彼はワンマンということでいささか人気に欠けるところがあった。他方、助役の薫は、経済にも通じてるし、彼は出来そうだと思う、「君村長やる気ないか」聞いたわけです。まんざらでもなさそうでしたが、「親父、いきなりこんなこと言うなんて、僕は返事は出来ませんよ」と。

実際には、照屋君が出るという。私は根路銘先輩も一緒に後援会を作って、教育長の島袋義久を推すことになった。林三君は、最初は立候補の表明をして選挙戦も一応始まったんだけど、我々があまりに強いからでしょう「止めた、もう立候補取り消す」ということになった。無投票になるかと思ったら、助役の薫が、照屋村長の後釜に立候補するというわけ。「村長やりたければ、なぜあの時に、私に返事をくれなかったか。僕はあなたが村長になるという気持ちだったら、義久を考えなかったよ」と、これは後の話です。

— 助役は外部から呼んだことが多いですね。

新城 内部からの登用が希望だったのですが、私の時代はそれがなかなかうまくできなかつたわけですよ。帯に短し襷に長しで。とにかくあれ言ったらあれではだめだ、これ言ったらこれではだめだというばかり。職員の人望を集めた課長クラスがなかなかいないわけですよ。従って外部からもつてこなければいけなかつた。なんで内部から助役を昇任させないで外部から持つてくるのかと反発もありました。しかし、内部からやるにも、あなた達誰も推薦しないだろう。でも助役を空白にするわけにはいかないから、外部から引っ張ってきているの

が実情なんだよ、と説明しました。内部登用をしたこともあるんです。仲村順三さんといって経済課長をしていました。

— 内部登用の難しさもあるんですね。

新城 結局は、村長を辞めても後任の助役を捜すまでは僕の責任だということで、私はやらんといかんわけですね。副知事などに会う時には、私が行ってそういう話をする。そしたら、断られたことがないんですよ。「いやー、親父が来て、そんな話だったら、やらんといかんだろう」という話になって…。

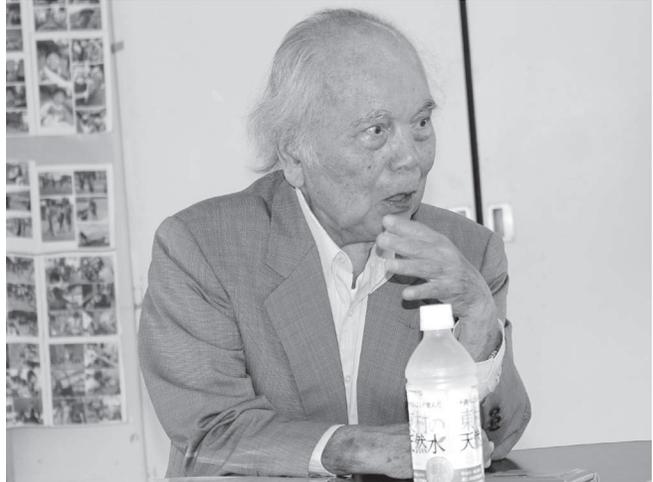
— やっぱ、大宜味村出身で県や総合事務局や沖縄市で経験を積んだ人にとって、元村長から直々大宜味のために働いてくれといったらなかなか断れないと思いますよ。

新城 はい、副知事などに交渉するとき、一応内諾というかな、打診はしてから行っているわけです。伸びそうな人材はずっと伸ばさんといかんですからね。ということで、村長辞めてから今まで、3名は県庁から引っ張ってきているわけよ。沖縄市からも。人材を得るのはなかなか難しいです。今の副村長も難産で気がかかりでしたが、ようやく誕生しました。

議会との関係

— 村長を退職して20年ですね。ずっと後見人として村政を見守っているわけですね。ところで大宜味村の議会の構成は保守系、革新系と分けられますか。

新城 大宜味は、東京という自民党とい



う党に所属する議員は一人もいません、やや自民党よりはいても。

— 例えば、全県選挙で昨年の知事選挙で仲井眞さんの応援をするような村議はいますか。

新城 いますよ、一人二人は。それほど広がりはありませんが。のぼり立てたりして運動しています。保守支持の何百名かは崩れませんよ、ずっとあります。

— 議会の保守系が反村長派ということになりますか。それとは別ですか。

新城 それは別。これは対外的には言えません、今の村長も元々は保守だったと言われているわけです。だから我々が今の村長を大事にするというか、そういう形で彼を励ましたりすると、私に対しては疑問を持つ人が多かったです。「なんで新城村長は保守なのか」という話が時々耳に入りました。

彼が、青年時代に海外派遣の青年隊応募する時に、社会福祉協議会から推薦しました。彼は特段の学歴もない、言葉使いも十分でない、それでも青年会長をして熱はある。県から彼の推薦をお願いしますと来た

ものだから。私が本人のお家に行って、親に頭を下げて「是非大宜味から、ヨーロッパの海外派遣隊に入れてくれ」、「受かるかどうかは解りませんが応募させてくれ」と話をしました。そしたら、村長の母親が「言葉も十分言えない、学問もしていない、あんどうるくわねえ村長」、「うりがあ沖縄の青年恥かくんどお」という話だったのだけれど、「違う、こういう人間も勉強させんといかんよ、とおみてごらん帰ってきたら変わるはずよ」と言って僕は説得した。私が結論だして、彼をヨーロッパの海外青年派遣隊に推薦しました。私はこの際この子を男にしないとイケないと思った、言葉も十分ではないのだが、だからこそ行かすんだ。

人材の育成

— なるほど。具体的にちゃんと人材育成をしたのですね。

新城 彼が何でも出来るのであれば派遣しない、できないから行かすという話になって結局行ったのです。派遣先はヨーロッパでした。1年間だったかな。行って帰ってきたら立派な青年になって、十分でないながら…堂々と話すようになって。僕はその時から、彼を自分の子供か弟と思っている。彼が保守と言われても僕はそう思っていない。彼はお父さんが建設業でしたので、保守だと言われていましたが。私は、人間簡単に保守とか革新と区分できるものでない、革新とか保守とか言う前に人間として働かないと駄目だよと、よく言うのですよ。彼は、青少年補導、警察交通安全関係とかボランティアをやっているのです。私はよく

言うのですよ、「君は人間としてどの位の仕事出来ているか、まず自分を振り返ってみなさい、功光（村長）みたいに出来るか、少年補導員なんて誰もやらないでしょう」と。

— たしかに民生委員や児童委員、少年補導員などなかなか手がいませんね。

新城 功光本人は自分がやりたいとは言わないけど、頼まれたらOKするわけです。OKしたら熱心にするわけ、自分の家に、困っている子供を引っ張って来て、お母さんに食事お願いします、後は私が面倒見ますと。こういう所で青少年更生させているのですよ、彼は。

— なるほど。

新城 こういう所に私から見たら人間教育ができています。副村長選任問題でスムーズに出発できず、心配しましたが、大丈夫だろうとは思います。



大宜味の革新的風土

— 国頭郡では、今帰仁村と大宜味村とりわけ大宜味で革新陣営が強いのはどういう風土なのでしょう。

新城 今帰仁村は今、まだ革新が多いけれど、選挙結果などからは、保守系の票が増えているように思います。大宜味村は戦前から革新の伝統があります。大宜味村政革新運動として有名です。

— 大宜味村の要覧に掲載されている年表を見ると、1931年8月大宜味村政革新同盟が組織され、村政革新運動が起こる、6日ごろから村内各字で村政批判演説会開かると記載されています。

新城 喜如嘉が中心だったそうです。今でも喜如嘉は革新部落と言われるほど革新の強いところです。運動は村全体に広がり、かなり激しく、多数の人が検挙され牢屋に入れられたと聞いています。

— 新城さんは数えて85歳になられました。健康の秘訣は何ですか。

新城 毎日ウォーキングをします。午後4時ごろから40分ぐらい。夕日がきれいで、

学校帰りの子供の声、巣に帰るカラスなど、自然の音が入ってくる。落日の中に古宇利島、伊平屋島、伊是名島が連らなって見える。家内にあきないかといわれるが、毎日景色は変わる。健康の秘訣だ。帰ってきてシャワーを浴びて、一日これ好日でよかったな、と思う。ビールを少し飲み、幸せです。明日も同じように願う。高齢になると、一年先二年先は考えない、昔は、孫もかまえなかった、今は孫がなんともいえず可愛く、訪ねて来るとほんとにうれしい。おじいはあっち（後生）に行かないよ、と言っている。

人材を以て資源となす

— 大宜味村は、実業界では復帰前沖縄経済界の四天王といわれた宮城仁四郎さん、政治家では沖縄の歴史で最初の民選知事の平良辰雄さん（沖縄群島政府）、婦人団体連合会の会長を務めた宮里悦さん、復帰運動を指導した福地曠昭さんなど、戦後沖縄を指導した人材を輩出しました。

新城 「人材を以て資源となす」、これが村是と言われています。大宜味村はそうい





織り込まれている、ということがあげられました。

— 大宜味村の役場入り口に、「人材を以て資源となす」という石碑がありました。これは、大宜味の先輩たちが建てたいわば村是であり、今新城さんが、未来に渡そうとするバトンですね。いい言葉だと思います。私も教育の場にいるものとして、大宜味村にならい、沖縄全体がそうでありたいと念じます。ありがとうございます。

(聞き手・仲地博)

う村でありたいと思います。教育界でも、福祉分野でも、実業界でも、那覇であれ大宜味であれ、志を立てて活躍する人材を育てる村でありたい。

大宜味が人材を輩出したのは、山に頼り海に頼る貧乏な地域だったからでしょう。どういリーダーがいたのかわかりませんが、あるいは自然発生的だったのかも知れませんが、子供に教育を与えよう、志ざしを持たそうと思ったのでしょうか。後輩は先輩を目標にし、先輩は後輩を引き立て育ててくれました。

そういえば、来春大宜味村立の四つの小学校が統合し、新大宜味小学校が誕生します。その校歌の選考委員長をしました。14点の応募がありました。校歌に選ばれた歌詞は、次のように歌っています。

文化のかおる この村で
歴史をついで明日にいかす
多くの先人ここにあり
満ちわたる平和の光
資源をつくる大宜味小

この歌詞を選んだ理由の一つは、「人材を以て資源と為す」という村是が歌詞の中に



沖縄県の離島医療のあゆみ ④

～離島医療との出会い～



公益社団法人地域医療振興協会

沖縄地域医療支援センター長 崎原 永作

今回は自治医大を卒業した若き医師たちが初期臨床研修を終えて、離島に赴任し始めた頃の事をご報告致します。

さて、自治医大は昭和47年の日本復帰の翌年から沖縄学生の受け入れを開始しましたが、その当時の本県の医療事情は他府県に比べ大きな格差がありました。医療施設数、病床数及び医療従事者数とも全国平均の50%を下回り、とりわけ離島・へき地における医療確保は厳しく、復帰当時、県内には40ヶ所の無医地区があり、約2万2千人の住民が簡単には医者にかかることができないという状況でした。インターネットなどの情報インフラも十分な整備がなされていない離島では、離島間の情報交換がほとんどない、文字通りの一人ぼっちの医療という状況でした。そんな中、昭和56年の現豊見城中央病院副院長の松本強先生と中部で田港クリニックを開業されている田港朝丈先生のお二人を皮切りに、自治医大の卒業医師が毎年継続的に配置されるようになり、次第に離島間に自治医大を中心としたヒューマンネットワークが広がってきました。

こうして離島の医師に情報共有化の欲求が生まれ、数々の試行錯誤を経て、沖縄県医療情報ネットワーク構築へと繋がること

になります。自治医大の登場によって、本県の離島医療がひとりぼっちの「点の医療」から「面の医療」へとパラダイムシフトが起こったのでした。

筆者は昭和59年1月に韓国人医師の金源倍先生の後任として県立宮古病院附属多良間診療所へ赴任することになりました。

着任の日、多良間空港には赤い絨毯こそ敷いてありませんでしたが、村長以下役場職員が大挙して待合ゾーンを大きくはみ出して出迎えるという、超VIP待遇でした。飛行機から降りてすぐその状況を察知したものの、私が診療所長ですと名乗り出るのも気恥ずかしく、声をかけられるのを期待して、待ち構えている役場軍団に近づいて行ったのですが、一般客の中でひときわ際立っているはずの新診療所長のオーラに誰一人気づくことなく、そのまま通り過ぎたあと引き返えて、後ろから村長さんにご挨拶するという少々間の抜けた出会いとなってしまいました。とはいえ、多良間村民の期待の大きさは充分過ぎるほど伝わってきていました。空港から役場までのバスの中でぼんやりと窓の外を見ていると「自治医大に合格してからの日々はここに来るための準備期間で、やっと約束の地に辿り着いた。」という思いがこみ上げてきて、

初めてのはずの風景が妙に懐かしく感じられました。

その日から、子供からお年寄りに至るまで、それこそ村中の人々が、30 ちょいの若造を受け入れてくれ、特別な存在として扱ってくれました。それはそれは身にあまる光栄で、医師という職業がこんなにも社会的な職業だったんだと気づかされた出来事でした。こうして、自分に出来る精一杯のことを島の人にお返しするぞという決意を胸に、私の離島医療がスタートしました。

外来診療が始まると、診療所は連日患者さんでごった返し、午後 8 時近くまで診療が終わらない日が続きました。流石に少し疲れてきて、「1,600 人の島にしては患者さんが多すぎないですかね？」と地元出身のベテラン看護師さんの嵩西さんに聞いた所、「先生、お年寄りは新しい先生の顔を早く見たくてたまらないのです。もう少しの辛抱ですよ」と涼しい顔で答えました。そして、その言葉通りに、2 週間ほど経つと徐々に患者数が落ち着いてきました。嵩西さんによると歩いて診療所に来ることが出来る年寄りほぼ全員診療所に来ていたとの事でした。

嵩西さんは 10 年以上多良間診療所に勤めていて、地元出身でもあるので、ほとんどの患者さんの既往歴やアレルギーの有無や家族歴などは勿論のこと、家族仲まで熟知しておりました。

そんな嵩西さんは島中の人から頼りにされていて、診療所の勤務時間が終わっても 24 時間、365 日、看護師さんでした。「元気はあるんだけどね～、解熱剤飲ませたら、少し吐いちゃったけど、もう一回、飲ませた方がいいかね～」こんな質問をするために夜中だろうが、明け方だろうが、少しの

遠慮もなしに嵩西さんちのドアをどんとどんと叩いて聞いていました。そして、嵩西さんはそれを当たり前のように受け止めていました。「どこそこのおばあちゃんの歩容姿を最近見てないので、気になって家に行ってみたら少し元気がなさそうだった。先生、往診に行ってくれませんか？」といったのは筆者を診療所の外に引っ張り出したり、「だれそれさんは診察日に来てなかったの、薬を届けながら様子を見てきます」なんて、自分のことを後回しにして、島中の人の心配をする嵩西さんの姿は、献身という言葉がぴったりのまさに「島のお母さん」でした。後年、離島医療支援の仕事に関わるようになって、県内の他の離島の事情を知るようになると、多良間以外の島にも嵩西さんのような役割を担う看護師さんがいる事に気がきました。そうだったので、人的資源が乏しい離島で、島の人が穏やかに暮らせるのは彼女らの細やかな心配りがあったからなのでした。そして自治医大の中尾学長が僻地へ旅立つ卒業生に贈った言葉を思い出しました。

「忘己利他」『己（おのれ）を忘（わす）れて他（た）を利（り）するは慈悲（じひ）の極（きわ）みなり』という言葉。

学長が伝えたかった事は、まさしく沖縄の島ナース達実践していたものでした。

斯くして、無事に離島医療との最初の出会いを終えて、その付き合いを深めていく事になりますが、今回は離島の救急医療のご報告をしたいと思います。

あのみち このむら No.3



金武町

～ 前編 ～

金武町は、本島中央部の東海岸に位置する、県内でも気候が安定した地域となっています。町花はさくら、町木はクバです。町は、中川区・並里区・金武区・伊芸区・屋嘉区の5つの行政区からなり、各区の特徴を生かしながら金武町民の生活をサポートする役割を担っています。タコライス発祥の地としてよく知られているほか、特産品として田芋（ターム）を使用したスイーツも人気があります。県内有数の水所であり、豊かな自然や多くの歴史的建造物がある金武町は見どころ満載な町です。

今回は、金武町の見どころを前編と後編にわけてお伝えします。

12月5日は「金武町移民の日」

「沖縄海外移民の先駆を成した町」である金武町は、「移民の父」と称される當(当)山久三の出身地です。當山久三は、教育者や社会運動家として当時、沖縄社会では影響を与えている人でした。沖縄の食糧・人口問題解決のために、海外移民事業が必要であると確信していた彼は、1899年(明治32年)12月5日、沖縄発の海外移民を那覇港からハワイに送り出すことに成功します。その歴史的日である12月5日は、「金武町移民の日」として11月の議会で条例として可決されました。その日には當山久三の像の前に約70人が集まり、顕彰式が行われました。仲間町長をはじめ、當山久三ロマン演劇団員や町青年海外派遣事業研修生らが献花をするなど記念事業が行われました。

今後、金武町は當山久三に関する功績や移民学習などの学びの場として、「當山久三記念館」の修復工事に向けて取り組んでいきます。



金武町が育てた特産品 タコライス

今や全国的に有名な沖縄グルメのひとつである、タコライス。金武町が、発祥の地です。白米の上に、スパイスで味付けされた挽肉、チーズ、レタス、お好みでサルサソースをかけて食べるその味は、抜群のおいしさです。誕生して約30年になりますが、今でも誰からも愛されるおふくろの味的な存在です。



2010年には「世界一大きいタコライス」でギネス記録に挑戦するイベントが開催されました。長さ12メートル、幅1.8メートル、重さ746キログラムのタコライスを作り、ギネスに認定されました。



自然豊かな町 金武町

恩納村から金武町の東部を流れ太平洋に注ぐ、億首川。ヒルギモドキ、オヒルギ、メヒルギ、ヤエヤマヒルギの4種のマングローブが生い茂っている沖縄有数の湿地帯です。2011年には「日本の重要湿地500」に選定されています。カヌーやカヤックに乗り、マングローブ林の自然を体験するというツアーがあり、億首川の自然を堪能することができます。また、「金武町億首川プロムナード」という全長280メートルの遊歩道もあり、ゆっくり歩きながらマングローブを観察することができます。カヌーやカヤックが苦手な方には、「金武町億首川プロムナード」での観察がおすすめです。

へ
億首川
へ



金武町並里区の中央に位置する「金武大川(ウッカガー)」は、「長寿の泉」を象徴する井泉。水道設備が普及する前は、生活用水として生活に欠かせない場でした。また「大川児童公園」が隣接しており、そこには噴水など水遊びができるスペースがあるので、夏場は子どもたちでにぎわっています。「金武大川(ウッカガー)」は文化遺産として、金武町指定文化財に認定されています。



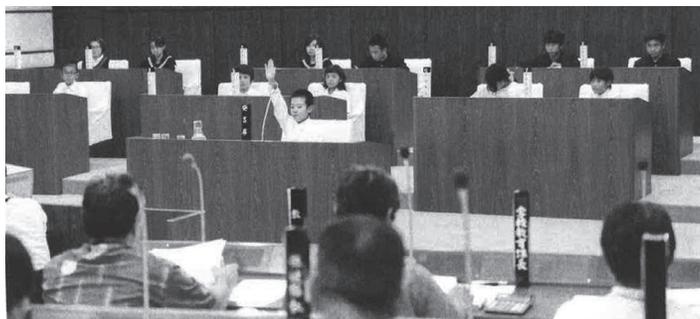
へ
金武大川
(ウッカガー)
へ

まちのとりくみ ①

「金武町子ども議会」

2015年度の「金武町子ども議会」が11月10日、町議会で開かれました。金武町内の小学校3校、中学校1校から合計16名の生徒が一般質問をしました。質問内容は、「学校に冷水器がない」、社会見学に必要なマイクロバスを増やすよう求める質問、定時発着のスクールバス導入の検討について、米軍キャンプ・ハンセンから発生する騒音被害についてなどでした。

このような教育環境は、町の子どもたちにとって、より地元に興味・関心を育ませる上でとてもすばらしい取り組みではないでしょうか。是非これからも、続けていってほしいです。



まちのとりくみ ②

ギンバル訓練場跡地・金武ダム等の億首川周辺における活性化
—ゴールデン・ドリーム—

金武町は、ギンバル訓練跡地利用の一環として、平成26年3月から温泉掘削作業を進めてきました。その掘削工事が完了し、豊富な湧出が確認されています。これから金武町は、県内の事例などを参考にしながら、湧出した温泉の活用に関する事業内容・規模・予算等の策定を図っていくところです。町民に慕われる温泉施設になることももちろん重要ですが、金武町の新しい観光地として大いに期待が寄せられています。

またギンバル訓練場跡地では、温泉施設の他に、地域医療施設やサッカー場など観光振興と地域活性化の拠点としての取り組みがなされています。平成26年4月、「金武リハビリテーションクリニック」、「佐喜眞義肢」、「発達支援センターぎんばるの海」の3施設がオープンし、平成28年1月には、医療施設「KIN放射線・健診クリニック」が開院します。今後も、さまざまな取り組みが期待されます。





全国町村長大会

全国町村長大会は、11月18日、正午から東京・渋谷のNHKホールで全国928の町村長、都道府県町村会関係者及び来賓の萩生田光一内閣官房副長官、大島理森衆議院議長、山崎正昭参議院議長、高市早苗総務大臣、石破茂地方創生担当大臣、谷垣禎一自由民主党幹事長、飯田徳昭全国町村議会議長会長など、約1,300名が出席して開催されました。

大会は古口達也副会長（栃木県茂木町長）の司会で進められ、はじめに安倍内閣総理大臣から、「元気で豊かな地方の創生は、安倍内閣の最重要課題である。地域の発想や創意工夫をいかし、個性と魅力あふれる取り組みを国が後押しすることで、地域に夢や未来を託せるよう全力を尽くす」との挨拶がありました。

この後、高市総務大臣、石破地方創生担当大臣、末松自由民主党幹事長代理、蓬全国町村議会議長会会長から来賓挨拶が行われました。

次に藤原忠彦会長（長野県川上村長）が挨拶に立ち、「町村において人口減少の克服、地方創生の推進は待ったなしの課題であり、政府の政策展開に期待するとともに、町村長も政府の取り組みと連携し、自らの地域の将来は自らが決めるという決意を新たに、直面する困難な課題に積極果敢に取り組んでいこうではないか。」と参加者に訴えました。

会長挨拶終了後、町村長への応援メッセージとして小田切徳美明治大学教授が登



藤原忠彦会長（長野県川上村長）

壇、本会が取りまとめた「農業・農村政策のあり方についての提言」について、現在の田園回帰傾向をさらに伸ばし、農業・農村が輝くための提言に加え、今までの農林水産省を中心とした農業再生のためのお金を、農村価値創造交付金という使いやすい形にするという提言を行ったことを紹介。そして交付金を使い、田園回帰する人々を受け入れるためにも、町村が自らを磨くということを覚悟を持って行う必要がある、それが、都市と農村を共生・前進させていく「都市農村共生社会の創造」の実現に繋がると述べました。

なお本大会に臨席した衆議院議員及び参議院議員は164名（代理を含む）であり、本人出席者を紹介しました。

この後、大会議長に谷口友見副会長（三重県大紀町長）を選出し、議事に入りました。議案について、はじめに大会運営委員会で決定した町村行財政をめぐる諸問題解決に向けた9項目の決議案を上程、全国町村会政務調査会の各委員長から提案理由の説明が行われ、「地方分権改革を強力に推



萩生田光一 内閣官房副長官

進すること」など3項目については坂本和昭行政委員会委員長（大分県九重町長）から、「歳出特別枠及び別枠加算を堅持するとともに、交付税率を引き上げ、地方交付税等の一般財源総額を確保すること」など3項目については吉田昇財政委員会委員長（埼玉県滑川町長）から、「都市と農山漁村の共生社会を実現すること」など3項目については杉博文経済農林委員会委員長（福井県池田町長）から各々説明が行われ、原案通り決定しました。次に、地方創生の



石破 茂 地方創生担当大臣

日の大会は、町村の価値や果たすべき役割の重要性を改めて訴え、活力ある地域づくりに邁進しようと、決議、特別決議及び要望について、私たち町村長の総意の元に採択を行い、参加者全員が一致協力して頑張っていくことが確認出来た意義あるものだった。今後とも町村長相互の連携を強固にし、直面する困難な課題に積極果敢に取り組みたい」と述べるとともに、報道関係者の理解と協力を求めました。



高市早苗 総務大臣

推進に関する特別決議案が上程され、白石勝也副会長（愛媛県松前町長）から提案理由説明が行われた後、満場一致で決議されました。さらに34項目の大会要望も一括採択されました。

これらの決議、特別決議、要望事項を実現するための実行運動方法については、町村長は地元選出国會議員、政府要路に対し、適宜、有効な方法で行うことを決定し、13時40分に大会を閉会しました。

大会終了後の記者会見で、藤原会長は「本

研修だより

第56回 市町村財務会計研修実施要領

- ◇目 標 財務会計事務に必要な基本知識を学習し、事務の適正な執行と能率化を図る。
- ◇対 象 原則として財務会計の担当初任職員で、所属長の推薦する者
- ◇期 間 平成27年11月18日(木) 10:00～16:00
- ◇場 所 沖縄県市町村職員研修センター 2階 (202・203研修室)
那覇市旭町116番地37 電話 098-860-9275
- ◇研修人員 50名
- ◇研修方法 講義・討議方式

研修日程及び研修修了者は、次のとおりです。

※ 研修修了者

国頭村	玉城 郷			
本部町	渡久地 太樹			
恩納村	大下 将史			
伊江村	山城 直也			
読谷村	大城 勝貴			
北谷町	高江洲 克利	山内 克弥		
粟国村	桑江 佳祐	高良 俊	内嶺 尚子	
伊平屋村	伊差川 誠	与那覇 大二郎		
八重瀬町	神谷 学	神谷 吉朋		
竹富町	小濱 啓由	與那國 毅		
東部清掃施設組合		大城 章		
本部町今帰仁村消防組合		澤岬 博光	大城 拓也	
東部消防組合		大城 洋二		
沖縄県介護保険広域連合	大城 朝敏	玉城 利博	平良 長真	
沖縄県後期高齢者医療広域連合	本村 拓美			

〈研修日程及び科目〉

		1日目	2日目
日 時		6月16日(火)	6月17日(水)
10:00～10:10		開講式・オリエンテーション	事務連絡・自習
1	10:10 11:00	【10:10～12:00】 1. 補助金の不適正執行について	【10:10～12:00】 1. 予算編成と決算のしくみ
2	11:10 12:00	2. 収入	2. 地方財政制度
	12:00 13:10	昼食	昼食
3	13:10 14:00	【13:10～16:00】 3. 支出	【13:10～16:00】 2. 続き
4	14:10 15:00	4. 契約	3. 地方交付税制度
5	15:10 16:00	元沖縄県出納事務局 会計課長 講師 赤嶺 哲雄	元沖縄県企画部市町村課 副参事 講師 比嘉 敏彦
6	16:10 17:00		アンケート回収・閉講

第20回 わかりやすい資料づくり講座 実施要領

- ◇目 標 職場内での協働を進めるため、資料作成の際に必要な論理的な思考方法や情報のまとめ方と組み立て方、分かりやすい表現方法等の技法を習得してコミュニケーション能力を高める。
- ◇対 象 受講を希望する職員で市町村の長等の推薦する者
- ◇期 間 平成27年9月9日(水) 9:00～16:30
- ◇場 所 沖縄県市町村職員研修センター 201～203研修室
那覇市旭町116番地37(沖縄県市町村自治会館2階) TEL 098-860-9275
- ◇研 修 生 56名
- ◇担当講師 平井 雅 (協働促進社 代表)
- ◇研修方法 講義及び演習

研修日程及び研修修了者は、次のとおりです。

※ 研修修了者

今帰仁村 伊波 綾乃 仲松 海人
 宜野座村 新里 俊文
 嘉手納町 金城 一克

研修だより

北中城村	島袋 沙織	大城 裕一		
中城村	荷川取 司			
西原町	杉山 幸来			
南風原町	親川 えみ	座安 雄大		
与那原町	山城 なぎさ	金城 恵美里	齊藤 美枝	
	山里 京子	永山 一沙		
竹富町	金城 有作			
与那国町	大田 倫子			
比謝川行政事務組合		上地 悠貴	照屋 寛英	
沖縄県介護保険広域連合		照屋 直樹	仲村 裕介	
本部町今帰仁村消防組合		大城 拓也	大城 友道	
沖縄県市町村自治会館管理組合	伊集 盛悟			

〈研修日程及び科目〉

	9:00 9:10	開講式・オリエンテーション
1	9:10	[表現力] プロのコツを学ぼう *フォントの基礎知識
2	10:00	*見やすくデザインするコツ *行間と字間のマジック
	11:00	
3	12:00	[実習]
	12:00 13:00	昼食
4	13:10	[分析力] 図表的思考力を身につける *図化して1枚紙にする *論理的に整理する
	14:00	
5		[編集力] 考えをカタチにする *演繹法と帰納法
	15:00	
6	16:30	[実習] *文章を図化してみる
7	16:30 17:00	アンケート・閉講

第7回メンタルヘルス研修実施要領 ～実践！ストレスコーピングによる心のトレーニング～

- ◇目 標 ストレスのメカニズムやうつ病について学び、実践的な心のトレーニングを学ぶ。ストレスを軽減し、仕事や人間関係を豊かにする手法を実践する。
(コーピングとは、認知行動療法を基本としたストレス対処法)
- ◇対 象 受講を希望する職員
- ◇期 間 平成27年9月11日(金)1日間
- ◇担当講師 メンタルトレーナー・心理相談員 仲間 由美子
- ◇研修人員 48名
- ◇研修方法 講義・実践・演習(グループワーク)
- ◇場 所 沖縄県市町村職員研修センター(TEL 098-860-9275)
那覇市旭町116-37 沖縄県市町村自治会館内2階(201～203研修室)

研修日程及び研修修了者は、次のとおりです。

※ 研修修了者

国頭村	與那嶺 蘭	荒木 善光		
今帰仁村	安里 さゆり			
宜野座村	仲栄真 麻美			
伊江村	新城 米広			
嘉手納町	柳 智美			
北中城村	玉城 こずえ			
中城村	稲嶺 盛昌	狩俣 誠		
与那原町	徳元 琴歌	仲宗根 香織		
南風原町	上原 守	瀬底 久乃		
栗国村	木村 絵美			
八重瀬町	木村 和美			
竹富町	新城 麻衣子	宇根 聖暁	岸上 奈実子	
南部水道企業団		酒本 隆志		
本部町今帰仁村消防組合		島袋 重則	大城 拓也	
島尻消防清掃組合消防本部		比嘉 典夫	城間 修	
沖縄県介護保険広域連合		比嘉 咲子	與那覇 祥一	大城 光広

〈研修日程及び科目〉

		実践！ストレスコーピングによる心のトレーニング
	09:00	開講・事務連絡
1	09:10 10:00	良いストレスとは？悪いストレスとは？ あなたのストレスに気づいてみよう
2	10:10 11:00	ストレスの個人差 うつ病を理解する
3	11:10 12:00	心の4つのサイクル セルフトーク
		昼 食
4	13:10 14:00	セルフトーク転換法ストレスパターンテスト アサーショントレーニング
5	14:10 15:00	社会支援コーピング アセスメントシート（事例 対処法）解決法・対処法のいろいろ
6	15:10 16:00	リラクゼーション法（セルフケア）筋弛緩法
	16:10	閉講・アンケート

第6回 市町村一般職員第3部研修実施要領

- ◇目 標 中堅職員としての使命及び役割を自覚させるとともに、地方分権時代における自治体のあり方について理解を深めさせる。また、市町村行政課題に対する認識を高めさせる。
- ◇対 象 採用後9年以上の職員
- ◇期 間 平成27年9月15日（火）～16日（水） 2日間
- ◇場 所 沖縄県市町村職員研修センター（電話 098-860- 9 275）
那覇市旭町 116 番地 3 7 沖縄県市町村自治会館 2階
（201～203研修室）
- ◇研修人員 32名
- ◇研修方法 講義、演習方式（グループワーク）

研修日程及び研修修了者は、次のとおりです。

※ 研修修了者

金武町 新里 睦美 新里 夏希
読谷村 高山 しのぶ 饒波 江利奈 知花 美和子 又吉 由樹子
嘉手納町 山城 久幸

北谷町 喜舎場 美智代 田仲 敦子 池原 都 大城 真笑美
 宮城 加奈子 石川 諭史
 北中城村 棚原 昌也
 西原町 知念 江里子 新川 裕司
 与那原町 板良敷 庸子 平田 直子
 本部町今帰仁村消防組合 宮里 政也 大城 慎也
 中城北中城消防組合 黒田 雄也

〈研修日程及び科目〉

月日		1日目	2日目
時間		9月15日(火)	9月16日(水)
	09:00	開講・オリエンテーション	事務連絡・自習
1	09:10 10:00	【9:10～17:00】 行政法(演習)	【9:10～12:00】 リーダーシップ発揮のための ヒューマンスキル向上
2	10:10 11:00	(講義・グループワーク) 沖縄国際大学 法学部 教授 前津 榮健	1. リーダーシップ 3つの能力 2. 指導育成のための人間理解を深める コンサルティングオフィスおおしろ 代表 大城 久美子
3	11:10 12:00		
		昼食	昼食
4	13:10 14:00		【13:10～17:00】 リーダーシップ発揮のための ヒューマンスキル向上
5	14:10 15:00	(引き続き) 行政法(演習)	3. 効果的なコミュニケーション 5つの 要素 4. チームのやる気を育てる人間関係の あり方
6	15:10 16:00	沖縄国際大学 法学部 教授 前津 榮健	5. 生き生きとしたチーム作り コンサルティングオフィスおおしろ 代表 大城 久美子
7	16:10 17:00		17:00 閉講 (アンケート回収)

第38回 市町村管理者研修実施要領

- ◇目 標 管理者としての職務と役割を自覚させ幅広い意識啓発を図るとともに、地方分権時代に対応するための自治体改革について意識の向上を図る。
- ◇対 象 課長級職員
- ◇期 間 平成27年9月25日(金)1日間
- ◇場 所 沖縄県市町村職員研修センター (電話:098-860-9275)
那覇市旭町116番地37 沖縄県市町村自治会館内2階
(201~203研修室)
- ◇研修人員 27人
- ◇研修方法 講義・討議方式

研修日程及び研修修了者は、次のとおりです。

※ 研修修了者

大宜味村	知念 和史						
与那原町	大城 哲	仲里 武徳					
八重瀬町	山川 満	神谷 清和	金城 哲生	嘉数 成裕			
	石原 朝子						
竹富町	通事 善則	大浜 知司	根原 健	前石野 裕和			
本部町今帰仁村消防組合		澤岬 博光					
中城村北中城村清掃事務組合		義間 清					
中城北中城消防組合		宮城 勝雄					

〈研修日程及び科目〉

		9月25日(金)
	09:00	開講式・オリエンテーション
1	09:10	(9:10～10:00)
	10:00	「公務員倫理Ⅲ」 講師 東江 隆美
2	10:10	(10:10～12:00)
	11:00	「パワーハラスメント」 オフィスあるふあ 青山 喜佐子
3	11:10	
	12:00	
昼 食		
4	13:10	(13:10～17:00)
	14:00	「ハードからソフト、ソフトからハードへ の地域づくりとリーダー育成」 富山県氷見市長 本川 祐治郎
5	14:10	【政治×中間支援×民間】の3つのセクターを経験して2014年4月7日より第9代富山県氷見市長に就任。
	15:00	行政主体ではなく市民と一緒に政策をつくり上げていく地域づくりをユニークな手法で実行して成果をあげており、目から鱗が落ちる実例の数々をお聞きすることができます。
6	15:10	
	16:00	
7	16:10	【コーディネーター 協働促進社代表 平井 雅】
	17:00	
	17:00 ～	閉講・アンケート

**第14回「説明・交渉力」研修
～人と組織を動かすコミュニケーション～ 実施要領**

- ◇目 標 プレゼンテーションの基本と技術を学習し、説明能力向上を図る。
- ◇対 象 受講を希望する職員
- ◇期 間 平成27年10月1日(木)～10月2日(金)
- ◇場 所 沖縄県市町村職員研修センター 電話 098-860-9275
那覇市旭町 116-37(沖縄県市町村自治会館2階)201～203 研修室
- ◇研 修 生 42名

研修日より

- ◇研修方法 講義、討議方式（グループワーク）
- ◇担当講師 株式会社 経済法令研究会 新名 史典 氏

研修日程及び研修修了者は、次のとおりです。

※ 研修修了者

金武町	仲間 功	仲間 陽子	神田 康秀
北谷町	仲嶺 勇樹	大城 真笑美	福地 翔子
中城村	比嘉 秀哉		
与那原町	饒平名 幹貴	比嘉 哲也	新里 健
久米島町消防本部		新垣 健	
竹富町	宮里 良貴		
沖縄県介護保険広域連合		比嘉 渉	
本部町今帰仁村消防組合		澤岬 博光	

第34回 税務研修実施要領

- ◇目 標 市町村税についての全般的な知識の習得を図り、税務事務を適正に執行するために必要な能力を養うとともに税務事務職員としての職責の理解と自覚を深める。
- ◇対 象 原則として税務事務担当職員（初任者）で、所属長が推薦する者。
- ◇期 間 平成27年10月9日（金）
- ◇場 所 沖縄県市町村職員研修センター（電話 098-860-9275）
那覇市旭町 116 番地 37 沖縄県市町村自治会館 2 階（201 ～ 203 研修室）
- ◇研修人員 66名
- ◇担当講師 日程表のとおり
- ◇研修方法 講義・演習方式

研修日程及び研修修了者は、次のとおりです。

※ 研修修了者

国頭村	宮城 愛利里		
東村	大嶺 和枝		
本部町	上原 大介		
宜野座村	喜瀬 真衣		
金武町	宮里 亮		
読谷村	大城 舞	玉城 絵里子	當山 翔太

嘉手納町	新垣 文野		
北谷町	福地 翔子	長浜 暖	
中城村	具志 梨沙		
西原町	上原 隆雅	呉屋 敦子	
与那原町	城間 かこの	斎藤 美枝	
南風原町	大城 裕昭	阿波根 知子	赤嶺 翔太
久米島町	平良 朝英		
八重瀬町	諸見里 俊一	野原 大輔	
竹富町	岡山 幹子	大泊 達成	
与那国町	仲里 美明		
沖縄県介護保険広域連合		平良 長真	
中城北中城消防組合		栗國 直美	
東部消防組合		上原 孝紀	

〈研修日程及び科目〉

		10月9日(金)
10:00 ~ 10:10		開講式・オリエンテーション
1	10:10 11:00	<div style="text-align: center;">【10:10~12:00】</div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">1 市町村民税（個人住民税）</div> <div style="text-align: center;">南城市 税務課 副参事 嶺井 康伸</div>
2	11:10 12:00	
	12:00 13:10	昼 食
3	13:10 14:00	<div style="text-align: center;">【13:10~16:00】</div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">2 所得税（個人所得税）</div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">3 固定資産税制度 ～路線価・固定資産評価の見方～</div> <div style="text-align: center;">税理士 神谷 幸子</div>
4	14:10 15:00	
5	15:10 16:00	

第13回 政策法務研修(実施要領)

- ◇目 標 自治体職員が条例を制定するために必要とされる法務能力を身につけることを目的とする。
- ◇対 象 受講を希望する職員
- ◇講 師 鎌田 晋 氏 (弁護士)
経歴：那覇市条例制定相談、中小企業庁主催下請法講習会、沖縄県中小企業中央会主催講演会などの行政機関への相談や講演会、また、沖縄国際大学講師、司法書士（民法、会社法、民事訴訟法、刑法、憲法）、行政書士（行政法、憲法、民法、会社法）の講師もなども行っている。その指導力には定評があり、行政、民間の幅広い分野で活躍。
- ◇期 間 平成27年10月15日(木)～16日(金)2日間
- ◇場 所 沖縄県市町村職員研修センター TEL 098-860-9275
那覇市旭町116番地37 沖縄県市町村自治会館2階 201～203 研修室
- ◇研 修 生 35名
- ◇研修方法 講義・演習方式(グループワーク)

研修日程及び研修修了者は、次のとおりです。

※ 研修修了者

今帰仁村	上間 勲			
金武町	仲間 あずさ			
読谷村教育委員会		高山	しのぶ	
嘉手納町	仲本 早紀子	古謝	義友	小嶺 佑矢
北谷町教育委員会		鉢嶺	明美	
北谷町	与那覇 政志			
北中城村	安里 沙織			
与那原町	伊集 哲	具志堅	智	安仁屋 勇希
南風原町	儀間 博嗣			
渡嘉敷村	與那嶺 悟			
中城北中城消防組合		安里	紀人	
比謝川行政事務組合		山城	康幸	
沖縄県介護保険広域連合		諸見	美奈子	内間 成美 漢那 靖文

〈研修日程及び科目〉

	1日目／10月15日(木)	2日目／10月16日(金)
9:00	開講・オリエンテーション	事務連絡・自習
9:10	【9:10～12:00】	【9:10～12:00】
12:00	○基礎法学について (講義・グループワーク)	○政策法務の流れ
12:00	昼食・休憩	
13:10	【13:10～17:00】	【13:10～17:00】
17:00	○行政立法について 【演習】 ○判例確認	○政策法務手段 ○条例案など作成例の演習 ※ 研修終了後、アンケート回収

第186回 監督者第1部研修 実施要領

- ◇目 標 管理監督に関する原理・原則を組織的かつ体系的に理解させることにより、監督者としての意識と自覚の確立を図る。
- ◇対 象 J S T基本コース未受講の係長級職員
- ◇期 間 平成27年10月20日(火)～10月21日(水)：2日間
- ◇場 所 沖縄県市町村職員研修センター (TEL 098-860-9275)
那覇市旭町116番地37 沖縄県市町村自治会館2階 (202～203研修室)
- ◇研修人員 21人
- ◇研修方法 J S T会議式研修 (指導・討議方式)

研修日程及び研修修了者は、次のとおりです。

※ 研修修了者

国頭村 金城 定一
 大宜味村 照屋 一樹
 東村 比嘉 誠 宮田 健次
 金武町 伊芸 慎一郎
 西原町 新川 隆之 新川 智子
 与那原町 桑江 ゆうな

研修だより

伊平屋村 石川 美香子
 久米島町 大田 直樹
 竹富町 安慶名 美穂子
 本部町今帰仁村消防組合 澤岬 博光
 中城村北中城村清掃事務組合 新垣 みのり

〈研修日程及び科目〉

日 時		1日目 10月20日(火)	2日目 10月21日(水)
9:00		開講式・オリエンテーション	事務連絡・自習
1	9:10 10:00	第1章 第1線のリーダーの役割 講師 伊禮 幸進	第3章 リーダーシップ 講師 東江 隆美
2	10:10 11:00		
3	11:10 12:00	第2章 リーダーのマネジメント	
	12:00	昼食	昼食
4	13:10 14:00	第2章 リーダーのマネジメント 講師 伊禮 幸進	第4章 コミュニケーション 第5章 職場における実践 講師 東江 隆美
5	14:10 15:00		
6	15:10 16:30		
	16:30 17:00		閉講・アンケート提出

第41回 民法講座 ～行政活動に伴う国家賠償法と民法の関係～(実施要領)

- ◇研修の目標 行政実務において発生する住民への損害賠償リスクを回避することで、住民の生命と生活の安全を守り、自治体への信頼構築、組織の保全と破綻を防止し、住民への円滑な行政サービスを提供する。
- ◇対象 受講を希望する職員
- ◇担当講師 岡 輝一 氏（社会保険労務士、行政書士、宅地建物取引士、法務博士）
経歴：銀行のリスク管理部において、法務相談・反社会的勢力対策等の補助業務を経験。民事系に強い実務家社労士、行政書士として活躍中。
また、行政書士（民法、行政法、会社法、憲法）講師として多くの合格者を輩出している。
- ◇期 間 平成27年10月23日（金）1日間
- ◇場 所 沖縄県市町村職員研修センター TEL 098-860-9275
那覇市旭町 116 番地 37 沖縄県市町村自治会館 2 階 201～203 研修室
- ◇研修生 68名
- ◇研修方法 講義方式

研修日程及び研修修了者は、次のとおりです。

※ 研修修了者

東村	城間	久代			
宜野座村	田里	一寿			
金武町	仲間	あずさ	佐和田 守男	糸村 昌敏	安富祖 絵美子
嘉手納町	新垣	淑乃			
北谷町	比嘉	昌海	高原 充江	眞喜志 康仁	来間 絵美
	照屋	直輝	宇栄原 鈴乃		
北谷町教育委員会			平織 翼		
北中城村	新垣	昌也			
西原町	奥浜	直美			
与那原町	仲嶺	真史	辺土名 梢	玉城 仁	佐久川 里香
南風原町	大城	浩也			
八重瀬町	新垣	浩和	新垣 徹		
竹富町	新城	麻衣子			
中城北中城消防組合			大城 如輝		
比謝川行政事務組合			瑞慶覧 浩	當山 亮	山城 康幸
			久貝 裕志	眞玉 橋理	照屋 寛英
沖縄県介護保険広域連合			國吉 尚	金城 敏和	

研修だより

本部町今帰仁村消防組合 澤岬 博光 大城 拓也
沖縄県市町村総合事務組合 宮城 健

〈研修日程及び科目〉

10月23日(金)	
10:00	開講・オリエンテーション
10:10	【10:10～12:00】 ①民法不法行為(損害賠償)と債務不履行(損害賠償)の相異
12:00	②国家賠償法と民法の相違 ②行政の適法活動による賠償問題の相違確認
12:00	昼食・休憩
13:10	【13:10～17:00】 ③行政の違法・適法活動による損害・補償問題の相違確認
17:00	④事案から国家賠償法、民法の各視点からの結論が導かれ論証と解説。 ※研修終了後、アンケート回収

人事評価制度の基礎的理解と制度策定・導入の進め方

- ◇目 標 能力及び実績に基づく人事管理の徹底を図るために、地方公務員法改正で定められた人事評価制度の基礎的理解と策定・導入手法を修得する
- ◇対 象 ①平成26年9月以降に人事担当課長級に就任した職員
②平成26年8月29日実施の人事評価制度導入セミナーに参加していない人事担当課長級の職員
- ◇期 間 平成27年10月27日(火)午前10時～午後4時30分(終了)
- ◇担当講師 公益財団法人 日本生産性本部 公共部門人事支援センター
研究主幹：村上和成
- ◇研修人員 63人(市町村、一組、広域連合)
- ◇研修方法 講義形式
- ◇場 所 沖縄県市町村職員研修センター TEL.098-860-9275
那覇市旭町116番地37 沖縄県市町村自治会館2階 201～203研修室

研修日程及び研修修了者は、次のとおりです。

※ 研修修了者
国頭村 崎原 誠 大城 靖

大宜味村	神里 富松					
東村	福永 政也					
今帰仁村	我那覇 隆文	天久	理絵			
恩納村	當山 欽也	仲村	泰弘			
金武町	上原 浩	伊波	朝親			
読谷村	安田 慶知	上里	竜一			
嘉手納町	比嘉 孝史					
北中城村	仲本 正一					
中城村	新垣 親裕					
西原町	與那嶺 剛	熊本	久美子	漢那	拓馬	
与那原町	城間 秀盛					
栗国村	高良 修一					
渡名喜村	又吉 栄					
久米島町	儀間 由紀	宮里	みかよ			
竹富町	古見 文志	大浜	知司	嘉良	隆	
与那国町	與那國 和子					
南部水道企業団		玉城	秀樹	兼城	純	
本部町今帰仁村消防組合		玉城	拓			
東部消防組合		神里	昌二	仲村	等	
中城村北中城村清掃事務組合		義間	清			
中城北中城消防組合		城間	昌彦	安里	常要	
金武地区消防衛生組合		島袋	昌英	宜野座	義弘	
国頭地区行政事務組合		大城	邦彦	屋我	浩美	嘉味田 朝也
那覇市・南風原町環境施設組合		上間	諭	運天	麻奈美	
沖縄県介護保険広域連合		城間	盛善			

〈研修日程及び科目〉

		10月27日(火)
10:00		開講式・オリエンテーション
1	10:10 11:00	I. 人事評価に対する基礎的理解 ① 人事評価に対する考え方の整理 ② 人事評価の本質・なぜ組織において人事評価が行われるのか ③ 公務員おける導入の必要性／経緯と現状
2	11:10 12:00	II. 人事評価制度の構造と特性 ① 人事制度と人事評価制度、そして人事評価制度の内部構造 ② 人事評価制度運用における管理職の役割と必要不可欠なスキル ③ 適正評価実現の条件
12:00		昼 食
3	13:10 14:00	III. 自治体における人事評価基準の策定 ① 人材育成基本方針の意味する事 ② 職務等級（職務給）制度における評価基準の策定の仕方 ③ 仕事にアンバランスが発生している状況下での適正評価の実現
4	14:10 15:00	IV. 人事評価制度の具体的事例の紹介 ① 体構造のイメージ ② 処遇反映制度／苦情処理制度設計の留意点
5	15:10 16:00	V. 人事評価制度策定と導入手順 ① 何をいつ準備しなければならないのか？（どの位の準備期間が必要か？） ② 直営方式か業務委託か？ ③ 試行運用・研修の留意点
6	16:00 16:30	質疑応答

第23回 歴史・文化講座(歴史編)実施要領

- ◇目 標 沖縄の歴史と文化に対する理解を深め、幅広い教養を培うとともに、深い郷土愛のある職員の育成に資する。
- ◇対 象 受講を希望する職員（ただし、修了者は除く。）
- ◇期 日 平成 27 年 11 月 5 日（木） 8:45 ～ 17：00
- ◇集合場所 沖縄県市町村職員研修センター（☎ 098-860-9275）
那覇市旭町 116 番地 37(沖縄県市町村自治会館) 2階 202 ～ 203 研修室
- ◇研修人員 30名
- ◇研修方法 現地見学方式(貸切バス利用:研修センター調達)
世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の登録理由や条件を、現地見学を通し、その意義について考える。
- ◇講 師 當眞 嗣一 沖縄考古学会会長
沖縄県立博物館・美術館協議会委員
世界遺産中城城跡・勝連城跡整備委員会委員他

研修日程及び研修修了者は、次のとおりです。

※ 研修修了者

金武町	仲間 保会			
北中城村	新垣 昌也			
与那原町	大城 亜友美	大城 美奈子	佐久川 里香	
南風原町	神里 智			
沖縄県介護保険広域連合		國吉 尚		
本部町今帰仁村消防組合		崎濱 秀茂		

〈研修日程及び科目〉

		10月27日(火)
午前	8:45	研修センター集合（2階：202・203研修室）
	9:00	研修センター発
	9:45	中城城跡着
	11:15	中城城跡発
	12:00	座喜味城跡着
	12:00	昼食
午後	13:50	座喜味城跡発
	14:45	勝連城跡着
	15:45	勝連城跡発
	17:00	研修センター着
	17:00 ～17:10	アンケート提出・解散

第20回 給与実務研修実施要領

- ◇目 標 給与実務の適正な処理能力の向上のため、当該事務に必要な根拠法令・制度の把握及び基本的知識を学習する。
- ◇対 象 原則として給与事務の担当職員で、所属長が推薦する者。
- ◇期 間 平成27年11月10日(火)
- ◇場 所 沖縄県市町村職員研修センター（電話 098-860-9275）
那覇市旭町 116 番地 37 沖縄県市町村自治会館 2階(201～203 研修室)
- ◇研修人員 64名
- ◇担当講師 日程表のとおり
- ◇研修方法 講義・演習方式

研修日程及び研修修了者は、次のとおりです。

※ 研修修了者

東村 比嘉 晶子
 今帰仁村 天久 理絵
 本部町 志良堂 真弓
 宜野座村 仲栄 真麻美

金武町	河岸 信行			
伊江村	大城 香呂	山城	佐百合	
読谷村	山内 樹			
嘉手納町	嵩本 さゆり	幸地	順	
北谷町	滝澤 大輔			
北中城村	粟国 誠			
与那原町	中村 孝			
南風原町	佐久川 昂也			
渡嘉敷村	番田 ふみ			
粟国村	内嶺 尚子			
渡名喜村	笹原 ナナ			
北大東村	糸数 珠里			
伊平屋村	新垣 恵			
竹富町	宝園 ひとみ	根原	けい子	
与那国町	仲宗根 英人			
南部水道企業団		宇座	和彦	
東部清掃施設組合		大城	章	
本部町今帰仁村消防組合		大城	拓也	
東部消防組合		上原	孝紀	
中城北中城消防組合		大城	如輝	栗國 直美
比謝川行政事務組合		狩俣	賢作	池原 盛喜
那覇市・南風原町環境施設組合	運天	麻奈美		
沖縄県介護保険広域連合	大城	朝敏		

〈研修日程及び科目〉

日 時		11月10日(火)
10:00 ~ 10:10		開講式・オリエンテーション
1	10:10 11:00	【10:10~12:00】 1 給与のしくみ・体系
2	11:10 12:00	沖縄県企画部 市町村課 行政班 主査 伊志嶺 聡子
	12:00 13:10	昼 食
3	13:10 14:00	
4	14:10 15:00	【13:10~17:00】 2 演 習
5	15:10 16:00	宜野湾市 人事課 給与係 係長 山城 隼人
6	16:10 17:00	

第24回 歴史・文化講座(文化編)実施要領

- ◇目 標 沖縄の歴史と文化に対する理解を深め、幅広い教養を培うとともに、深い郷土愛のある職員の育成に資する。
- ◇対 象 受講を希望する職員。(ただし、修了者は除く。)
- ◇期 間 平成27年11月12日(木) 10:00～16:00
※開演時間等に変更があった場合は、研修時間も変更となる場合があります。
- ◇場 所 国立劇場おきなわ
浦添市勢理客4-14-1 電話 098-871-3311
(沖縄県市町村職員研修センター TEL:098-860-9275)
- ◇研修人員 30名
- ◇担当講師 日程表のとおり
- ◇研修方法 講義・演習方式

研修日程及び研修修了者は、次のとおりです。

※ 研修修了者

国頭村	大城 莉沙				
東村	渡久山 尚子				
金武町	仲間 常子	仲間 陽子	平良 美和	伊波 朝親	
嘉手納町	玉城 公文				
西原町	奥浜 直美				
伊平屋村	名嘉 竜男				
東部清掃施設組合		諸見 里一			
那覇市・南風原町環境施設組合	上江洲 清尚				
沖縄県介護保険広域連合	諸見 美奈子				

〈研修日程及び科目〉

日 時		11月12日(木)
午 前	10:00 10:10	国立劇場おきなわ集合（ロビー） 劇場内移動
	10:30 12:00	生徒のための組踊鑑賞教室「花売の縁」
	12:00 13:30	昼 食
午 後	13:30 16:00	「組踊りの歴史と概要」 講師：沖縄県立芸術大学 非常勤講師 鈴木 耕太 場所：国立劇場おきなわ3階 交流プラザ
	16:00 16:10	アンケート提出・解散

第1回 成果の出る会議の進め方講座実施要領

- ◇目 標 会議などの進め方に関する手法を知り、庁内や住民との協働を進めるコツを学ぶ。
- ◇対 象 受講を希望する職員
- ◇期 間 2日間 平成27年11月26日（木）～27日（金）
- ◇担当講師 協働促進社 代表 平井 雅
- ◇研 修 生 36名
- ◇研修方法 講義・演習方式（グループワーク）
- ◇場 所 沖縄県市町村職員研修センター 電話 098-860-9275
那覇市旭町116番地37（沖縄県市町村自治会館2階）201～203研修室

研修日程及び研修修了者は、次のとおりです。

※ 研修修了者

国頭村 樋口 淳一
 読谷村 浜川 秀樹 上間 雅也 仲里 源哲
 北谷町 島袋 光一郎 當山 貴巳
 西原町 熊本 浩平
 与那原町 富名腰 朝亮 伊集 京美 饒平名 智代

伊平屋村 伊礼 直樹
 八重瀬町 新垣 里美
 竹富町 高田 俊誠
 比謝川行政事務組合 宇根 紀治
 沖縄県介護保険広域連合 松川 文乃
 本部町今帰仁村消防組合 宮里 政也

〈研修日程及び科目〉

	1日目／11月26日(木)	2日目／11月27日(金)
9:00	開講式・オリエンテーション	事務連絡・自習
9:10	アイスブレイク ミニレクチャー 「ファシリテーションとは」 演習「会議の成果とは」	アイスブレイク ミニレクチャー 「議論の構造化と見える化」 演習「実際に会議をやってみる」
12:00	ミニレクチャー「会議の準備」	
【昼食】12:00～13:00		
13:10	演習「企画立案会議」 ミニレクチャー「会議の運営」	演習「実際に会議をやってみる」 (続き) 演習「会議の設計」
17:00	演習「話し合いのプロセス」	ふりかえり

第8回メンタルヘルス研修実施要領 ～実践！ストレスコーピングによる心のトレーニング～

- ◇目 標 ストレスのメカニズムやうつ病について学び、実践的な心のトレーニングを学ぶ。ストレスを軽減し、仕事や人間関係を豊かにする手法を実践する。
(コーピングとは、認知行動療法を基本としたストレス対処法)
- ◇対 象 受講を希望する職員
- ◇期 間 平成27年12月4日(金)1日間
- ◇担当講師 メンタルトレーナー・心理相談員 仲間 由美子
- ◇研修人員 43名
- ◇研修方法 講義・実践・演習(グループワーク)
- ◇場 所 沖縄県市町村職員研修センター(TEL 098-860-9275)
那覇市旭町116-37 沖縄県市町村自治会館内2階(201～203研修室)

研修日程及び研修修了者は、次のとおりです。

※ 研修修了者

国頭村	宮城 梨加	宮城 愛利里			
大宜味村	安里 瞬				
金武町	小渡 あかね				
読谷村	武山 丸美	宮里 明子	石川 浩恵	島袋 美乃	
	新垣 聡子	菊池 和世			
西原町	新川 智子	金城 裕子			
与那原町	新垣 政孝	上原 清武	外間 智		
伊平屋村	大城 武宜	石川 美香子			
本部町今帰仁村消防組合		崎濱 秀茂			
比謝川行政事務組合		山内 嘉哉	玉城 国聡		
沖縄県介護保険広域連合		伊波 裕貴			

〈研修日程及び科目〉

実践！ストレスコーピングによる心のトレーニング		
	09:00	開講・オリエンテーション
1	09:10 10:00	良いストレスとは？悪いストレスとは？ あなたのストレスに気づいてみよう
2	10:10 11:00	ストレスの個人差 うつ病を理解する
3	11:10 12:00	心の4つのサイクル セルフトーク
昼 食		
4	13:10 14:00	[分析力] 図表的思考力を身につける * 図化して1枚紙にする * 論理的に整理する
5	14:10 15:00	[編集力] 考えをカタチにする * 演繹法と帰納法
6	15:10 16:00	[実習] * 文章を図化してみる
	16:10	閉講・アンケート

第21回 わかりやすい資料づくり講座 実施要領

- ◇目 標 職場内での協働を進めるため、資料作成の際に必要なとされる論理的な思考方法や 情報のまとめ方と組み立て方、分かりやすい表現方法等の技法を習得してコミュニケーション能力を高める。
- ◇対 象 受講を希望する職員で市町村長等の推薦する者
- ◇期 間 平成27年12月9日(水) 9:00～16:30
- ◇場 所 沖縄県市町村職員研修センター TEL 098-860-9275
那覇市旭町 116 番地 37 沖縄県市町村自治会館2階 (201～203 研修室)
- ◇研 修 生 55名
- ◇講 師 平井 雅 (協働促進社 代表)
- ◇研修方法 講義及び演習

研修日程及び研修修了者は、次のとおりです。

- ※ 研修修了者
東村 久高 将治

研修日より

北中城村	譜久山 綾乃	山田 航	仲村 耕太郎
与那原町	饒波 依子	宮城 明恵	仲村 健二
南風原町	神谷 麻美		
八重瀬町	神谷 美枝子	比屋根 健作	
沖縄県介護保険広域連合		松川 文乃	
本部町今帰仁村消防組合		伊良波 宏昭	宮里 政也
中城北中城消防組合		比嘉 渉	
沖縄県町村会		新垣 祐希	

〈研修日程及び科目〉

	9:00 9:10	開講・オリエンテーション
1	9:10	[表現力] プロのコツを学ぼう
		*フォントの基礎知識
2	10:00	*見やすくデザインするコツ
		*行間と字間のマジック
3	11:00	
	12:00	[実習]
	12:00 13:00	昼 食
4	13:10	[分析力] 図表的思考力を身につける
		*図化して1枚紙にする
		*論理的に整理する
5	14:00	[編集力] 考えをカタチにする
		*演繹法と帰納法
6	15:00	
	16:30	[実習]
		*文章を図化してみる
7	16:30 17:00	アンケート・閉講

会務の動き

平成27年9月～平成27年11月

■沖縄県町村会

- 9月3日 全国自治協会・生協理事会
(東京都)
- 3日 全国町村会理事会・都道府県
町村会長会 (東京都)
- 9日 子宮頸がんワクチン接種後の
副反応の早期解決についての
要請 (沖縄県庁)
- 10月23日 全国町村会理事会・政務調査
会 (東京都)
- 28日 負担金審議委員会
(市町村自治会館)
- 30日 第26回沖縄振興審議会
(東京都)
- 11月12日 沖縄県町村会理事会
(市町村自治会館)
- 17日 全国町村会理事会・都道府県
町村会長会 (東京都)
- 18日 全国町村長大會
(東京都・NHKホール)
- 27日 沖縄県定期総会
(市町村自治会館)

■沖縄県町村交通災害共済組合

- 10月29日 平成27年度交通災害共済九
州ブロック会議
(市町村自治会館)

■沖縄県市町村職員互助会

- 9月11日 第72回西日本地区市町村職
員互助団体業務研究会
(香川県)
- 10月8日 全国市町村職員互助団体連絡

協議会・平成27年業務研究
会 (岡山県)

- 10月8日 第43回(平成27年度)
～12日 研修旅行
(マレーシア・シンガポール)
- 10月30日 第32回(平成27年度)
～11月2日 銀婚記念旅行 (北海道)

■沖縄県町村会災害共済事業

- 9月10日 災害共済関係事業等加入推
進
- ～11日 及び火災予防運動等関係事務
打合せ (東京都)
- 10月6日 災害共済事務説明会
(市町村自治会館)

■沖縄県市町村総合事務組合

- 9月7日 平成27年度消防補償等組合
九州地区会議 (佐賀県)
- 17日 都道府県退職手当組合職員研
修会 (東京都)
- 10月7日 平成27年度町村監査委員全
国研修会 (東京都)
- 21日 平成27年度九州地区町村会
(組合)担当者会議(福岡県)
- 29日 平成27年度消防団員等公務
災害補償等研修会
(東京都・東海大学校友会館)
- 11月10日 平成27年度第1回非常勤職
員公務災害認定委員会
(市町村自治会館)
- 27日 平成27年第3回沖縄県市町
村総合事務組合議会臨時会
(市町村自治会館)

■沖縄県地域振興対策協議会

- 11月12日 第61回沖縄県地域振興対策
協議会理事会
(市町村自治会館)

会務の動き

- | | | |
|-----|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 16日 | 第59回簡易水道整備促進全国大会（東京都・砂防会館） | 発公社幹事会
（市町村自治会館） |
| 16日 | ダム・発電関係市町村等振興議員連盟との合同勉強会
（自由民主党本部） | 30日 第130回沖縄県町村土地開発公社理事会
（市町村自治会館） |
| 19日 | 水産業振興・漁村活性化推進大会・定期総会（東京都） | |
| 19日 | 全国観光地所在町村協議会理事会・定期総会（東京都） | |
| 19日 | 全国観光地所在町村協議会総会・定期総会（東京都） | |
| 27日 | 第61回沖縄県地域振興対策協議会定期総会
（市町村自治会館） | |

■沖縄県町村土地開発公社

11月12日 第131回沖縄県町村土地開

町村長選挙の結果

—ご当選おめでとうございます—



北大東村
（きただいたうそん）

宮城光正
みやぎみつまさき

△任期 平成27年12月4日～平成31年12月3日▽

（五期目）

[資料1]

市 町 村 一 覧

市町村名	市町村長	年齢	任 期 (平成)	就任 回数	役 所 ・ 役 場			所 在 地
					電話番号	FAX番号	郵便番号	
市 部								
那 覇 市	シロ 間 幹 子 シロマキミキコ	64	30. 11. 15	1	(098)867-0111	(098)863-0777	900-8585	那覇市泉崎1丁目1番1号
宜野湾市	サキ喜眞 アツシ サキキマアツシ	51	28. 2. 11	1	(098)893-4411	(098)892-7022	901-2710	宜野湾市野嵩1丁目1番1号
石 垣 市	ナカ ヤマ ヨシタカ ナカヤマヨシタカ	48	30. 3. 19	2	(0980)82-9911	(0980)83-1427	907-8501	石垣市美崎町14番地
浦 添 市	マツモト 哲 治 マツモトテツジ	48	29. 2. 10	1	(098)876-1234	(098)876-8585	901-2501	浦添市字安波茶1丁目1番1号
名 護 市	イナホ 嶺 進 イナホミネススム	70	30. 2. 7	2	(0980)53-1212	(0980)53-6210	905-8540	名護市港1丁目1番1号
糸 満 市	ウエハ 原 裕 常 ウエハラヒロトシネ	66	28. 7. 5	2	(098)840-8111	(098)840-8112	901-0392	糸満市潮崎町1丁目1番地
沖 縄 市	クワサ 江 朝 千 夫 クワサエアサチオ	60	30. 5. 11	1	(098)939-1212	(098)934-3830	904-8501	沖縄市仲宗根26番1号
豊見城市	トヨミ 宜 保 晴 毅 トヨミキホハルキ	47	30. 11. 7	2	(098)850-0024	(098)850-5343	901-0292	豊見城市字翁長854番地の1
うるま市	シマ 島 袋 俊 夫 シマシマフクシノブ	63	29. 5. 14	2	(098)974-3111	(098)973-9819	904-2292	うるま市みどり町一丁目1番1号
宮古島市	シメジ 下 地 敏 彦 シメジジメトシノブ	69	29. 1. 24	2	(0980)72-3751	(0980)73-1645	906-8501	宮古島市平良西里186番地
南 城 市	ユギ ジョ 謝 景 春 ユギジョケンシュン	60	30. 2. 11	*1 4(3)	(098)948-7111	(098)948-7149	901-0695	南城市玉城字富里143番地
国 頭 郡								
国 頭 村	ミヤ 宮 城 久 和 ミヤキキヒサカズ	72	28. 4. 6	1	(0980)41-2101	(0980)41-5910	905-1495	国頭村字辺土名121番地
大宜味村	ミヤ 宮 城 功 光 ミヤキキノリミツ	64	30. 10. 6	1	(0980)44-3001	(0980)44-3139	905-1392	大宜味村字大兼久157番地
東 村	イ 伊 集 盛 久 イイジュセイキウ	75	31. 4. 26	3	(0980)43-2201	(0980)43-2457	905-1292	東村字平良804番地
今帰仁村	イマノ 那 嶺 幸 人 イマノミネキニキヒト	68	28. 8. 22	3	(0980)56-2101	(0980)56-4270	905-0492	今帰仁村字仲宗根219番地
本 部 町	タカ 高 良 フミ文 雄 タカタカフミオス	67	30. 9. 20	3	(0980)47-2101	(0980)47-4576	905-0292	本部町字東5番地
恩 納 村	ナガ 長 浜 ヨシ 善 巳 ナガハマヨシタカ	50	31. 1. 23	1	(098)966-1200	(098)966-2779	904-0492	恩納村字恩納2451番地
宜野座村	トウ 富 眞 アツシ 淳 トウフマアツシアツシ	43	28. 12. 29	1	(098)968-5111	(098)968-5037	904-1392	宜野座村字宜野座296番地
金 武 町	ナカ 仲 間 ヘジメ ナカノマヘジメ	60	30. 4. 16	1	(098)968-2111	(098)968-2475	904-1292	金武町字金武1番地
伊 江 村	シマ 島 袋 秀 幸 シマシマフクヒデユキ	63	29. 4. 27	1	(0980)49-2001	(0980)49-2003	905-0592	伊江村東江前38番地

[就任回数は、合併前の旧市町村の長としての就任回数も含めて表示。()内数字が新市町村制後の就任回数。]

*1 南城市長 旧知念村長として1期就任 (H18. 1. 1 玉城村・知念村・佐敷町・大里村が合併して南城市誕生)

※ H14. 4. 1 豊見城村から豊見城市へ(市制施行)

※ H14. 4. 1 仲里村・具志川村が合併して久米島町が誕生

※ H18. 1. 1 東風平町・具志頭村が合併して八重瀬町が誕生

※ H17. 10. 1 平良市・城辺町・下地町・上野村・伊良部町が合併して宮古島市誕生

※ H17. 4. 1 具志川市・石川市・与那城町・勝連町が合併してうるま市誕生

[2015 (平成27)年12月4日現在]

市町村名	市町村長	年齢	任期 (平成)	就任 回数	役 所 ・ 役 場			所 在 地
					電話番号	FAX番号	郵便番号	
中 頭 郡								
読谷村	イシ ミネ デン ジツ 石 嶺 傳 實	60	30. 2. 28	2	(098) 982-9200	(098) 982-9202	904-0392	読谷村字座喜味2901番地
嘉手納町	トウ ヤマ ヒロシ 當 山 宏	62	31. 2. 17	2	(098) 956-1111	(098) 956-9508	904-0293	嘉手納町字嘉手納588番地
北谷町	ノ 野 グニ マサ ハル 野 国 昌 春	70	29. 12. 11	3	(098) 936-1234	(098) 936-7474	904-0192	北谷町字桑江226番地
北中城村	アラ カキ クニ ケイ 新 垣 邦 男	59	28. 12. 21	3	(098) 935-2233	(098) 935-3488	901-2392	北中城村字喜舎場426番地の2
中城村	ハマ タ ケイ 浜 田 京 介	53	28. 7. 3	2	(098) 895-2131	(098) 895-3048	901-2493	中城村字当間176番地
西原町	ウエ マ アキラ 上 間 明	69	28. 10. 5	2	(098) 945-5011	(098) 946-6086	903-0220	西原町字与那城140番地の1
島 尻 郡								
与那原町	フル ガン クニ オ 古 堅 國 雄	73	30. 5. 1	3	(098) 945-2201	(098) 946-6074	901-1392	与那原町字上与那原16番地
南風原町	シロ 城 マン トシ 城 間 俊 安	67	30. 5. 8	5	(098) 889-4415	(098) 889-7657	901-1195	南風原町字兼城686番地
渡嘉敷村	マツ モト ヨシ カツ 松 本 好 勝	70	30. 11. 19	1	(098) 987-2321	(098) 987-2560	901-3592	渡嘉敷村字渡嘉敷183番地
座間味村	ミヤ ゲト サトル 宮 里 哲	48	29. 5. 31	2	(098) 987-2311	(098) 987-2004	901-3496	座間味村字座間味109番地
栗国村	シン ジョウ シズ 新 城 静 喜	62	28. 7. 31	2	(098) 988-2016	(098) 988-2206	901-3792	栗国村字東367番地
渡名喜村	ウエ ハラ ノボル 上 原 昇	63	30. 2. 26	3	(098) 989-2002	(098) 989-2197	901-3692	渡名喜村1917番地の3
南大東村	ナカ ナカ ケン ショウ 仲 田 建 匠	56	30. 6. 30	3	(09802) 2-2001	(09802) 2-2669	901-3895	南大東村字南144番地1
北大東村	ミヤ キ ミツ マサ 宮 城 光 正	61	31. 12. 3	5	(09802) 3-4001	(09802) 3-4406	901-3992	北大東村字中野218番地
伊平屋村	イ イ レイ ヨキ オ 伊 礼 幸 雄	68	29. 9. 12	2	(0980) 46-2001	(0980) 46-2956	905-0793	伊平屋村字我喜屋251番地
伊是名村	マエ マチ セイ 前 田 政 義	71	30. 9. 20	4	(0980) 45-2001	(0980) 45-2467	905-0695	伊是名村字仲田1203番地
久米島町	オオ タ ハル 大 田 治 雄	60	30. 5. 11	1	(098) 985-7121	(098) 985-7120	901-3193	久米島町字比嘉2870番地
八重瀬町	ヒヤ ネ ホウ ジ 比 屋 根 方 次	77	30. 2. 11	2	(098) 998-2200	(098) 998-4745	901-0592	八重瀬町字具志頭659番地
宮 古 郡								
多良間村	イラ ミナ ミツ オ 伊良皆 光 夫	60	29. 7. 7	1	(0980) 79-2011	(0980) 79-2120	906-0692	多良間村字仲筋99番地の2
八 重 山 郡								
竹富町	カワ ミツ エイ チョウ 川 満 栄 長	62	28. 9. 13	2	(0980) 82-6191	(0980) 82-6199	907-8503	石垣市美崎町11番地1
与那国町	ホカ マ シュ キチ 外 間 守 吉	66	29. 8. 28	3	(0980) 87-2241	(0980) 87-2079	907-1801	与那国町字与那国129番地

※ 41市町村 (11市11町19村)

【資料：沖縄県町村会 TEL(098)963-8651 FAX(098)963-8654】

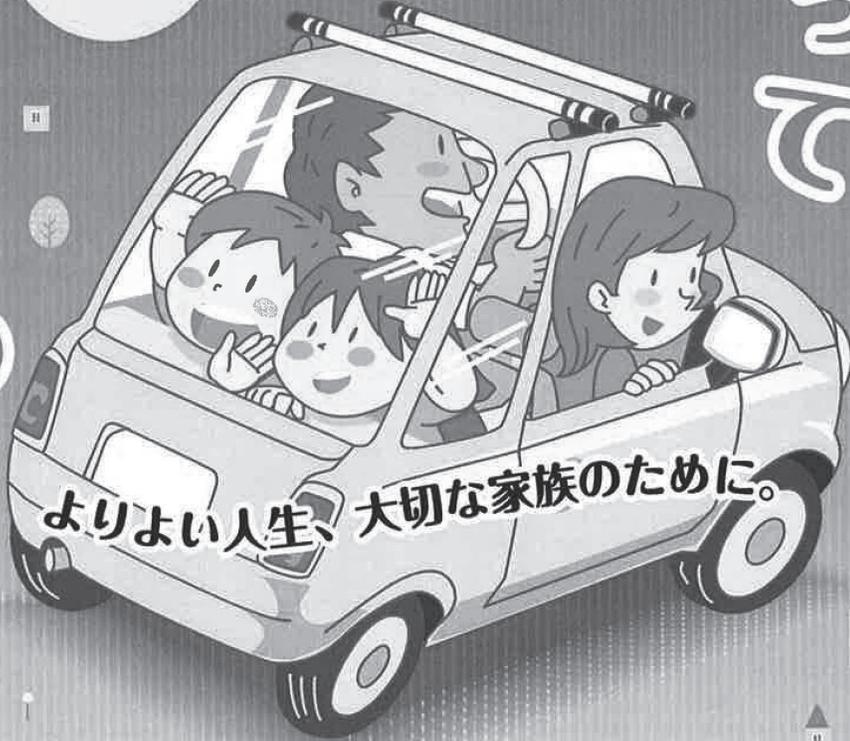
【資料：沖縄県市長会 TEL(098)963-8616 FAX(098)963-8621】

加入しましよら

掛金はおひとり



家族揃って



よりよい人生、大切な家族のために。

各町村役場・沖縄県町村交通災害共済組合

交通災害共済

共済期間／平成28年4月1日～平成29年3月31日 2月1日から受け付けます

詳しくは、お住まいの町村役場へお問い合わせ下さい。

大切なマイカーには…

全国町村等職員の **自動車共済** + 上乗せ **車両共済(保険)**

のご加入がオススメです!

自動車共済

相手方への対人・対物賠償、
ご自身のケガに対する補償

対物賠償



対人賠償



限定搭乗者



セット
で
加入

車両共済(保険)

ご自身のお車の損害を補償



【ご注意】
「車両共済(保険)」は、「自動車共済」に上乗せして、別に加入する制度です。
「車両共済(保険)」だけに加入することはできません。

オプション1

地震・噴火・津波車両全損時一時金特約(有償)

車両共済(保険)にご加入いただいても地震・噴火・津波による損害は補償されません。
地震・噴火・津波車両全損時一時金特約に加入することで車両が「全損」になった場合※1に一時金をお支払いします。

地震・噴火・津波による損害で契約自動車
が「全損」になった場合に、地震・噴火・
津波車両全損時一時金として50万円※2
を支払う特約です。ご契約タイプが一般
条件の場合のみ、当契約を付帯できます。

特約保険料

(年間(集団抜年一括払の場合))一律**4,750円**となります。

車両共済(保険)額が50万円を下回る場合は、それに応じて保険料が安くなります。

※1 別途約款に定めた一定の状態をいいます。

※2 車両共済(保険)金額が50万円を下回る場合はその金額とします。

オプション2

弁護士費用特約(有償)

自動車事故などにより被保険者がケガなどをされたり、
自らの財物(自動車、家屋など)を壊されたりすること
によって、相手の方に法律上の損害賠償請求をするため
に支出された弁護士費用や弁護士などへの法律相談費用
などを保険金としてお支払する特約です。

弁護士費用
保険金

1事故
1被保険者につき

300万円程度

法律相談費用
保険金

1事故
1被保険者につき

10万円程度

【ご注意】お支払の対象となる費用は、当社の同意を得て支出された費用にかぎります。

オプション3

事故・故障時代車費用特約(有償)

ご契約の自動車が事故、故障またはトラベルにより走行不能となり、かつレッカーけん引された場合※1、または事故
によりご契約の自動車に損害が生じた場合※2に、修理などでご契約の自動車を使用できない期間など所定の支払
対象期間のレンタカー費用をお支払する特約です。

※1 ロードアシスタンス特約のお支払の対象となる場合にかぎります。 ※2 車両保険のお支払の対象となる場合にかぎります。

【ご注意】お支払の対象となる期間は、「レンタカーのご利用開始日からその日を含めて30日」かつ「事故発生日などの翌日から起算して1年以内」を限度とします。

このパンフレットは概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜までお問い合わせください。

全国町村職員生活協同組合

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-35 全国町村会館内

TEL 03-3581-0479 URL: <http://www.zcss.jp/>

【車両共済(保険)の取扱代理店】

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内

株式会社 千里

☎ 0120-731-087 FAX 03-3519-7325 <http://www.chisato-ag.co.jp>

(ちさと)

お手元に車検証がある場合には、見積依頼書と併せてFAXください。また、送信の際はFAX番号をよくご確認ください。



グッジョブ運動とは？

❶ みんなでグッジョブ運動(沖縄県産業・雇用拡大県民運動)ってどういうもの？

県民が一丸となって就業意識の向上を目指し取り組む県民運動です。

❷ 目標

沖縄県の雇用情勢を全国並みに改善する。

❸ 計画期間

平成19年度～

❹ 基本コンセプト

みんなが生きがいを持って働く自立した豊かな社会の実現

自治おきなわ 2016年 1月号 (No.439)

2016年 1月 1日 発行

発行 沖縄県町村会

〒900-8531 那覇市旭町116番地37 TEL(098)963-8651
(自治会館5階) FAX(098)963-8654

編集
責任者 新垣喜春

印刷所 丸正印刷株式会社
電話(098)835-8181
